

2011年度

科目名	社会福祉実習				
担当教員	船本 淑恵、神部 智司、農野 寛治、安本 伊佐子、阪本 博寿、前川 敦				
配当	教福3			コード	80086
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	6
授業テーマ	社会福祉現場から相談援助実践について学ぶ				
目的と概要	社会福祉施設・機関・団体などにおける現場実習を通して、社会福祉専門職として必要な知識、技術、倫理などについて理解を深める。 具体的には次の内容を学ぶ。社会福祉施設・機関・団体などの現状を理解する。社会福祉専門職に必要な専門知識、関連知識の内容の理解を深める。これらの知識、技術を実際の場面で活用し、援助を必要としている人々への相談援助業務に必要な資質・能力・技術を習得する。関連領域の専門職との連携のあり方と実際に学ぶ。地域におけるネットワークの構築やあらたな福祉サービス創出の視点を獲得する。自己の内省を行い、自らの課題を発見する。				
成績評価法	実習評価に基づく。				
テキスト	特になし。				
参考書	指定しない。				
履修に当たっての注意・助言／準備学習	〈履修に当たっての注意・助言〉利用者のいのちと暮らしを支える現場であることを認識し、倫理原則を守りながら誠実に取り組んでください。 〈準備学習〉参考書の指定はしませんが、各自の実習先に関連する文献は必ず読んでおくこと。また、現状理解のために政策の動向を把握しておくこと。そのために、新聞は必ず毎日読んでおくこと。				
講義計画					
実習期間中に担当教員が実習施設・機関・団体などを巡回し、学生および実習指導者との情報共有を行うことで、実習生の実習状況を把握し、指導・助言など個別指導を行う。 それぞれの配属実習先との打ち合わせにもとづいて作成した実習プログラムによる実習を行う。実習プログラムは、職場実習、職種実習、ソーシャルワーク実習を適宜組み合わせで作成する。具体的には以下の内容を含むものとする。 1. 利用者やその関係者(家族・親族・友人等)、施設・機関・団体等の職員、地域住民やボランティア等とのコミュニケーション・スキル 2. 利用者理解、およびニーズ把握と援助計画の作成 3. 利用者やその関係者との専門的援助関係の形成 4. 利用者やその関係者への援助のあり方(権利擁護、エンパワメントを含む)とその評価 5. 施設・機関・団体等における多職種連携などチームアプローチの実践 6. 社会福祉士の職業倫理 7. 就業規定および組織の一員としての役割と責任、施設・機関・団体等の経営、管理運営の実践 8. 施設・機関・団体等の地域社会における役割および地域社会への働きかけの具体的内容(アウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発など)					